

生涯学習に関する世論調査（内閣府実施、文部科学省分析） 抜粋

調査対象 全国18歳以上の日本国籍を有するもの3,000人

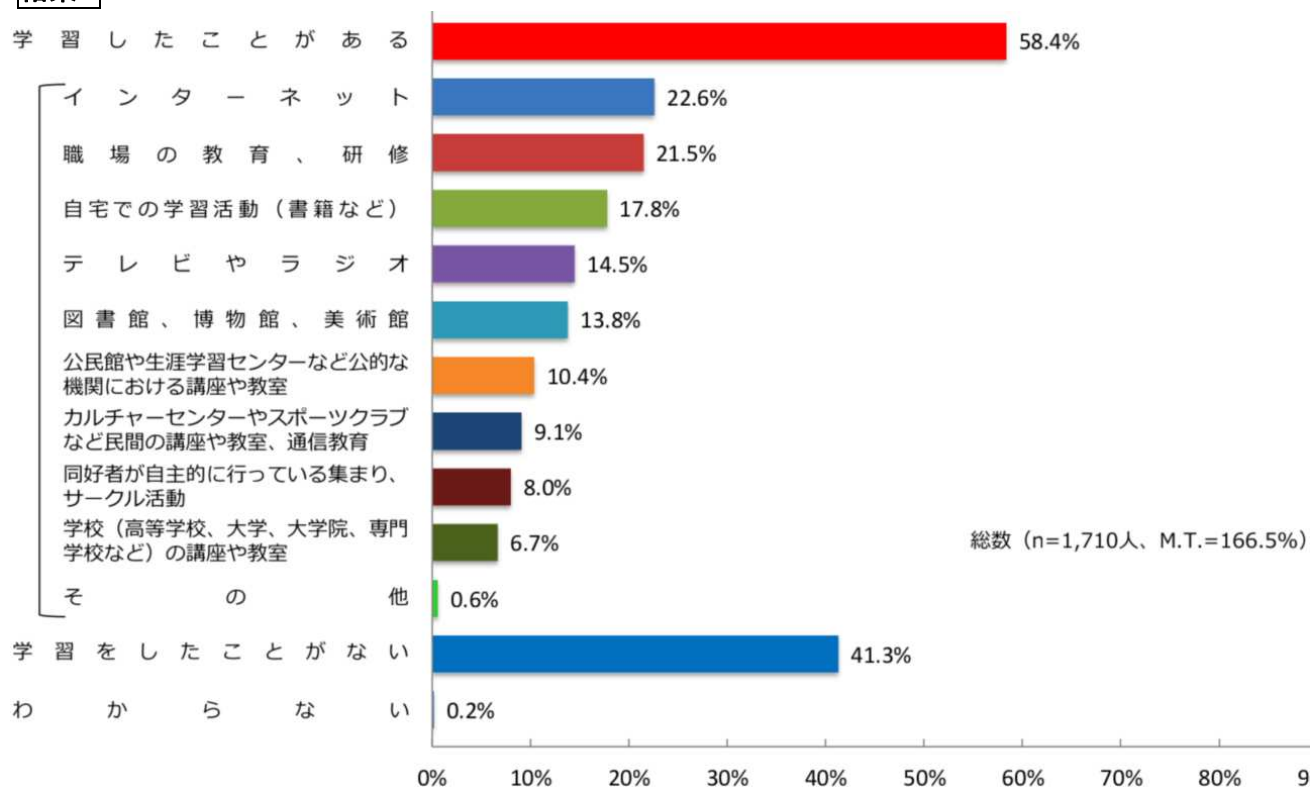
回収数1,710人（回収率57.0%）

調査年月 平成30年6月～7月

（1）この1年間の学習の形式

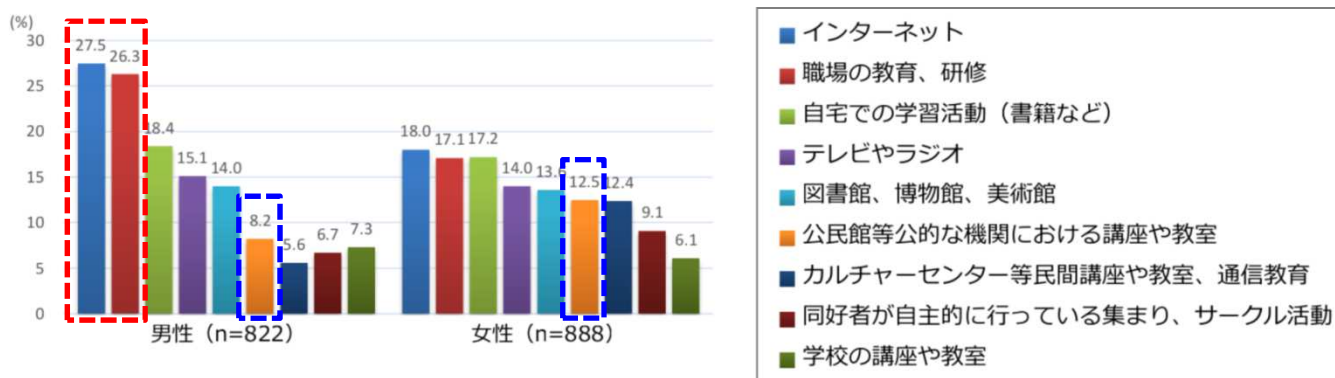
問1：あなたは、この1年間の間に、どのような場所や形態で学習をしたことがありますか。
（複数回答）

結果1



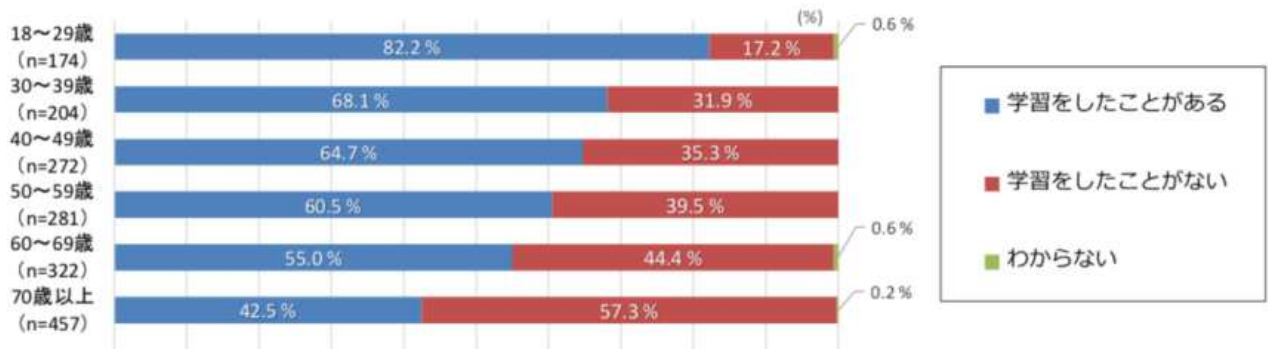
結果2：男女別の学習の形式

- ・男女とも「インターネット」の回答が最も多いが、特に男性は「インターネット」、「職場の教育、研修」の回答が顕著に多い。
- ・「公民館等公的な機関における講座や教室」の回答が少ない。



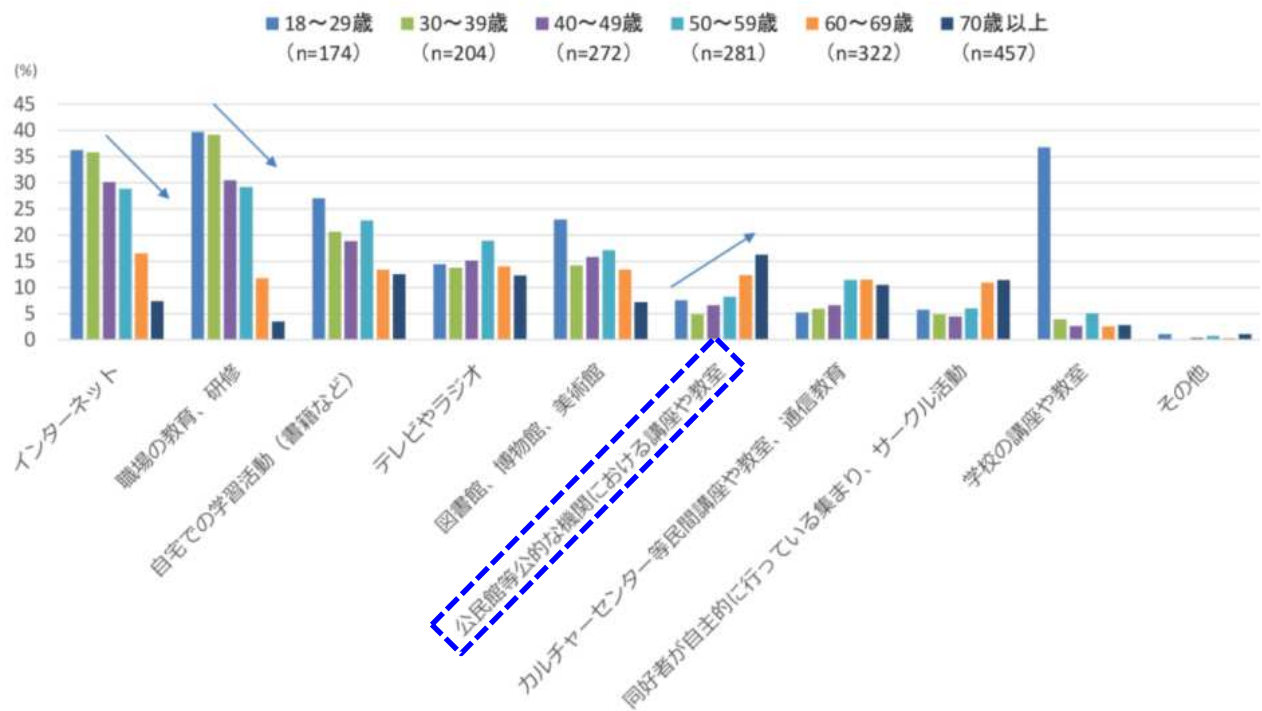
結果 3 : 年代別の学習の有無

「学習をしたことがない」との回答が年代とともに増加。



結果 4 : 年代別の学習の形式

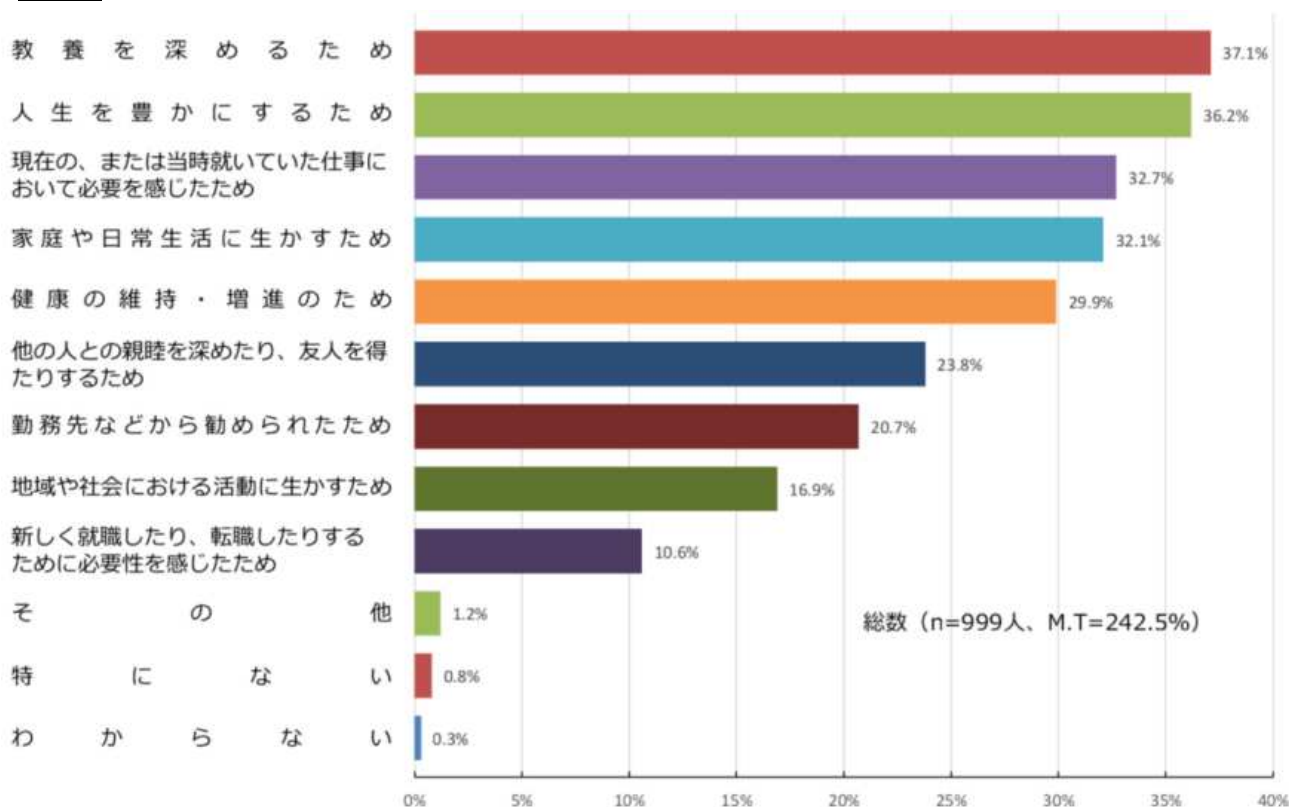
- ・「インターネット」や「職場の教育、研修」の回答は年代とともに減少傾向。
- ・「公民館等公的な機関における講座や教室」の回答は年代とともに増加傾向。



(2) 学習をした理由

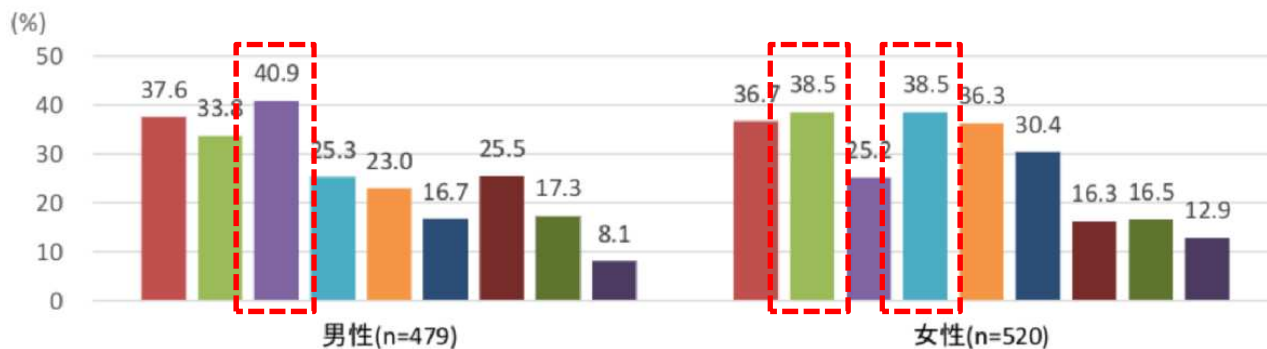
問2：(学習をしたことがあると答えた999人に) 学習した理由は何ですか。(複数回答)

結果1



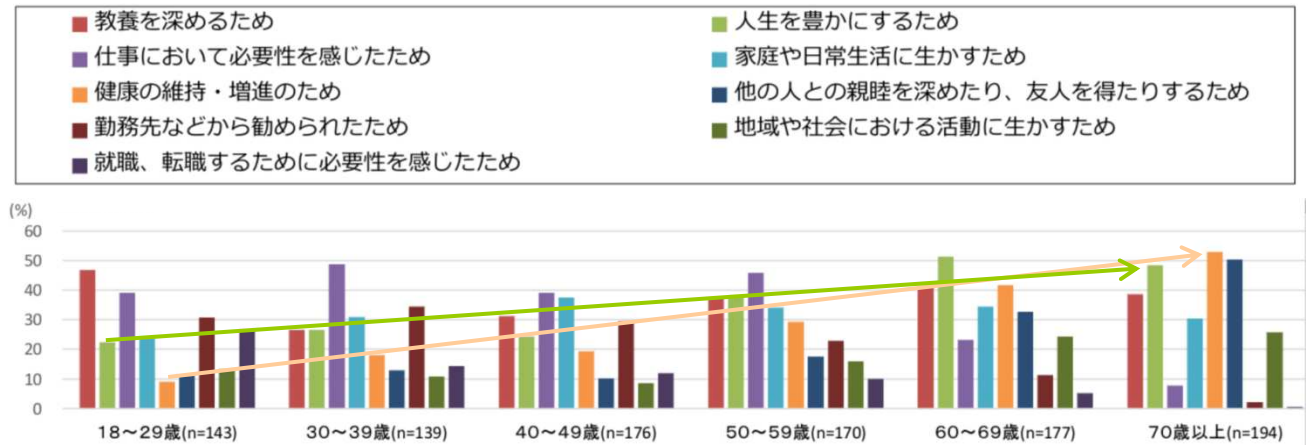
結果2：男女別の学習の理由

- ・男性では「仕事において必要性を感じたため」が最も多い。
- ・女性では「人生を豊かにするため」及び「家庭や日常生活に生かすため」が最も多い。



結果 3：年代別の学習の理由

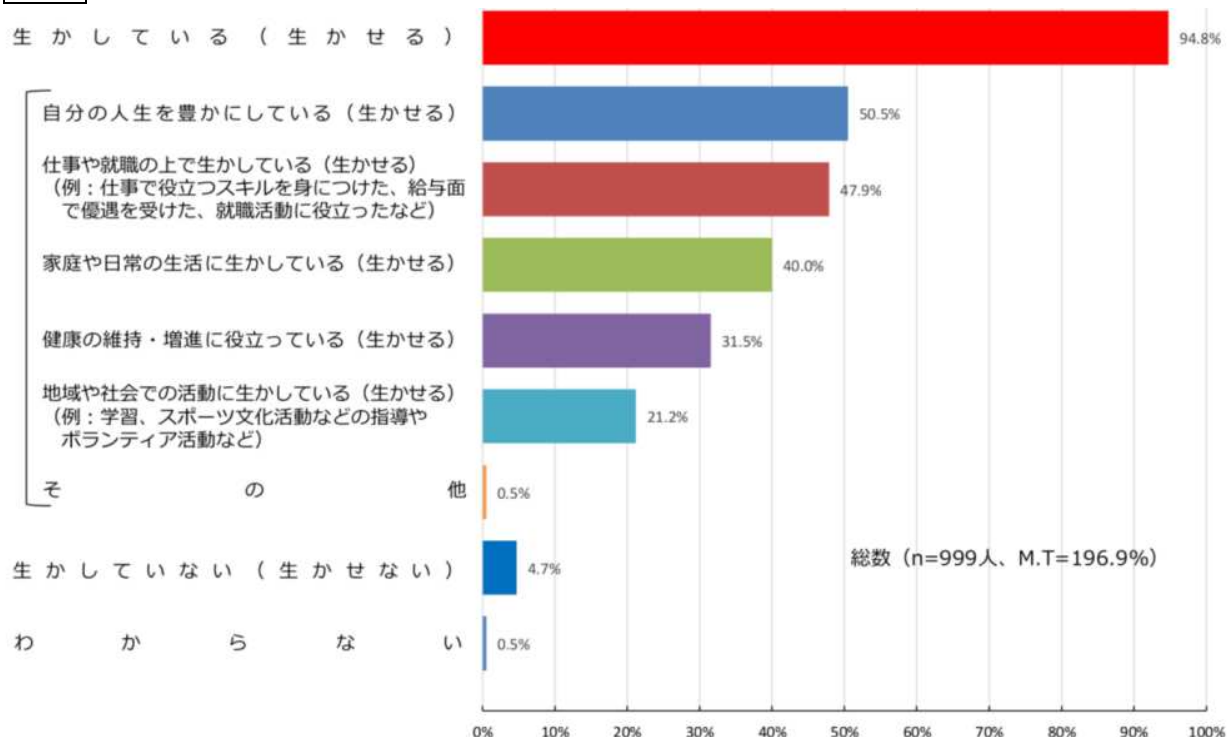
- ・ 30～50代は「仕事において必要性を感じたため」が最も多い。
- ・ 年代が上がるにつれ「人生を豊かにするため」、「健康の維持・増進のため」が増加傾向。



(3) 学習成果の活用状況

問 3：(学習をしたことがあると答えた999人)に学習した成果をどのように生かしていますか。あるいは生かせると思いますか。(複数回答)

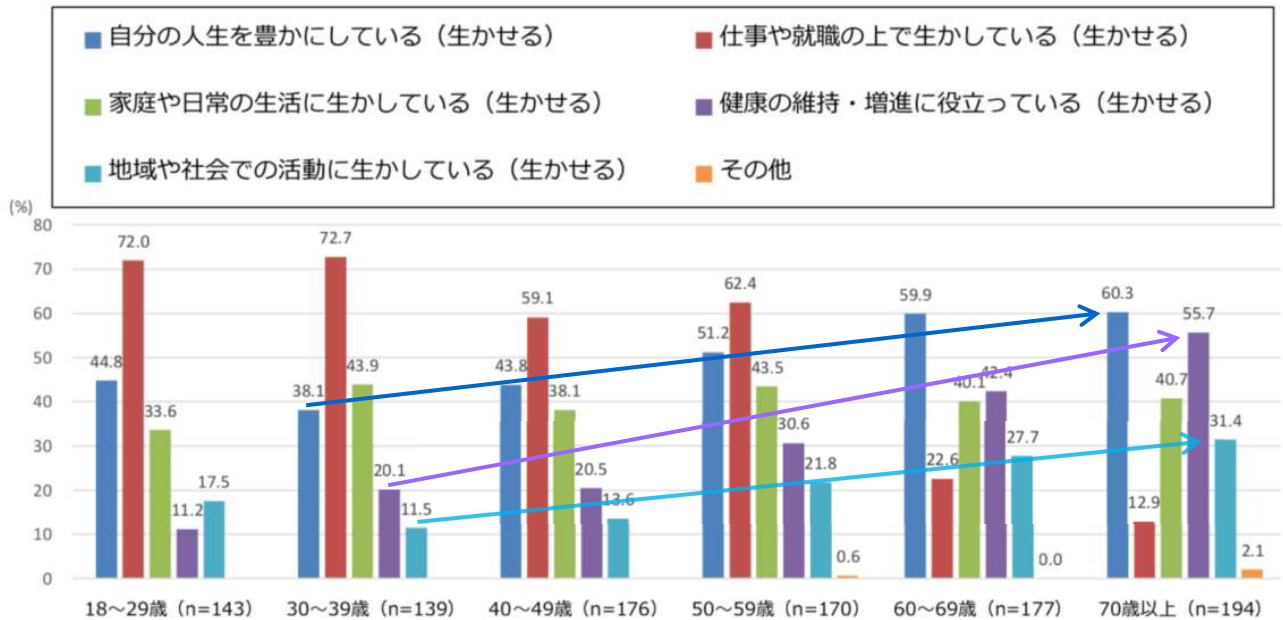
結果 1



結果 2：年代別の学習成果の活用

学習したことがあると回答かつ学習成果を「生かしている（生かせる）」と回答した方のうち、

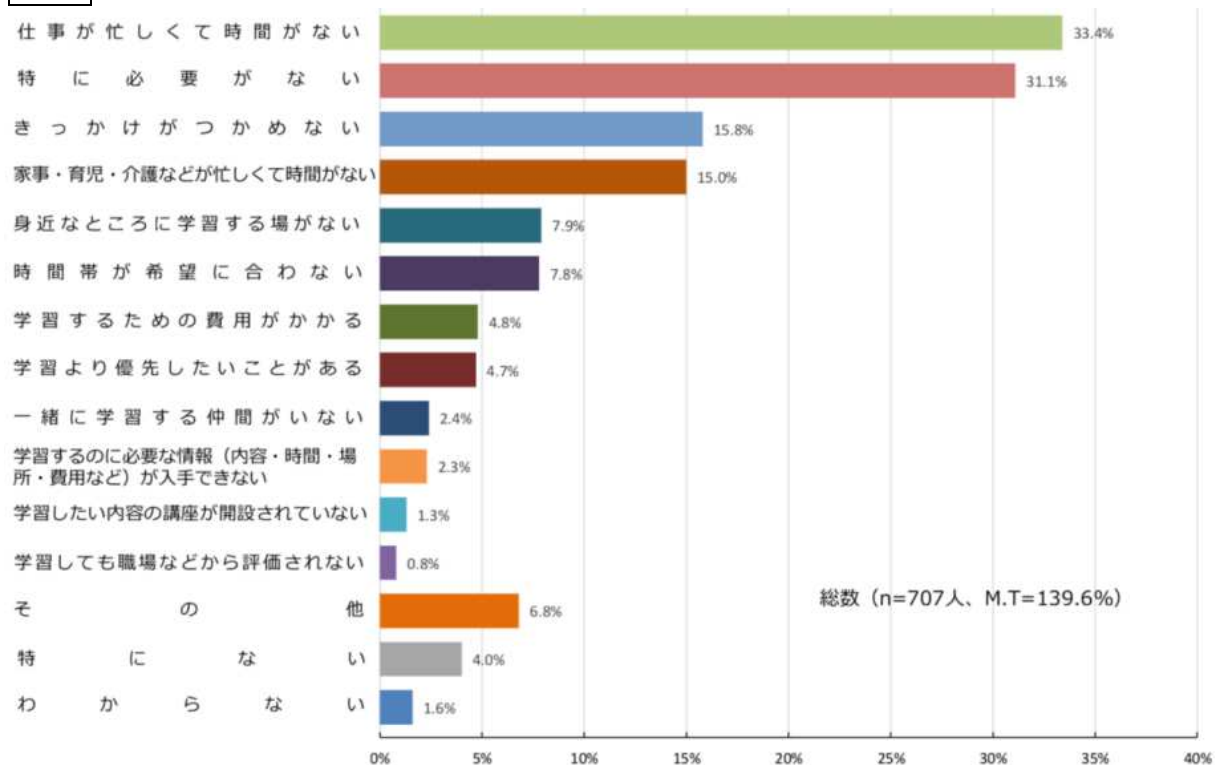
- ・ 50代以下の各年代は、学習成果を「仕事や就職の上で生かしている」の回答割合が最大であり、半数以上がこの回答を選択している。
- ・ 「自分の人生を豊かにしている」、「健康の維持・増進に役立っている」、「地域や社会での活動に生かしている」の回答は、年代が上がるにつれて増加傾向。



(4) 学習をしない理由

問 4: (問 1 で学習をしたことがないと答えた 707 人に) 学習したことがない理由は何ですか。
(複数回答)

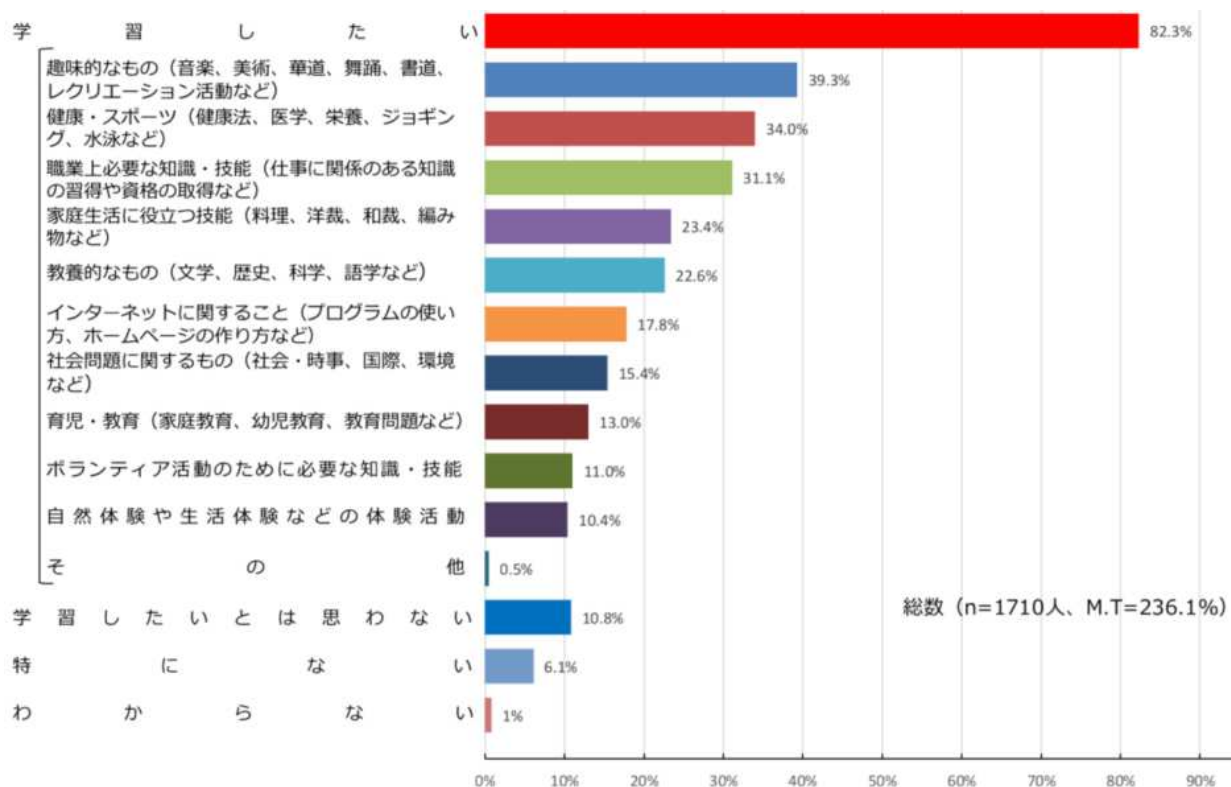
結果 1



(5) 今後学習したい内容

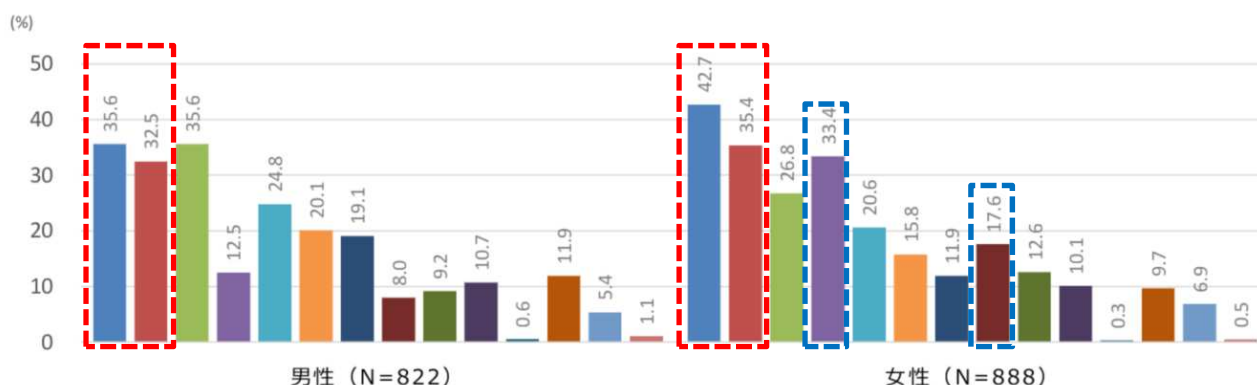
問5：これから学習するとすればどのようなことを学習したいですか。(複数回答)

結果1



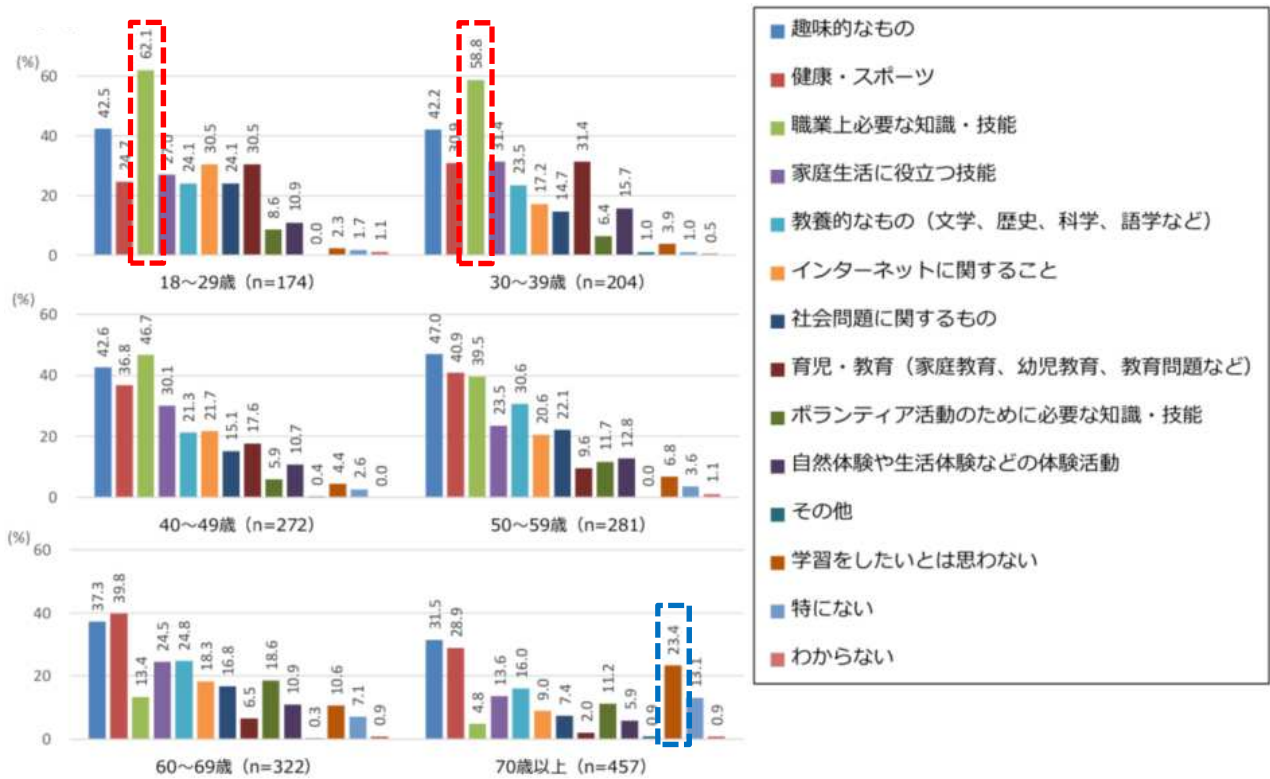
結果2：男女別の今後学習したい内容

- ・「趣味的なもの」、「健康・スポーツ」の回答は男女とも上位。
- ・「家庭生活に役立つ技能」、「育児・教育」の回答が女性において多い。



結果 3：年代別の今後学習したい内容

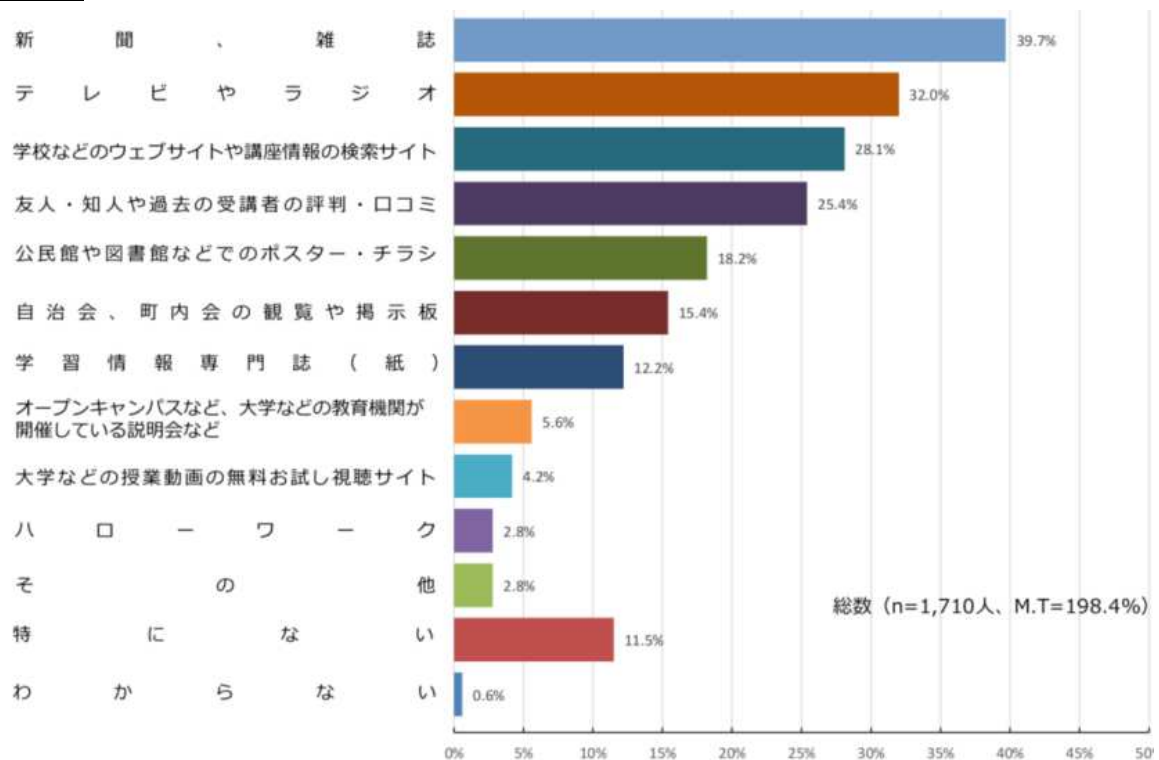
- ・若い年代ほど「職業上必要な知識・技能」の割合が多く、30代までは半数以上が選択。
- ・70歳以上では、「学習をしたいとは思わない」の割合が顕著に高い。



(6) 今後の情報収集の方法

問 6：これから学習するとすれば、どこから情報収集を行いますか。

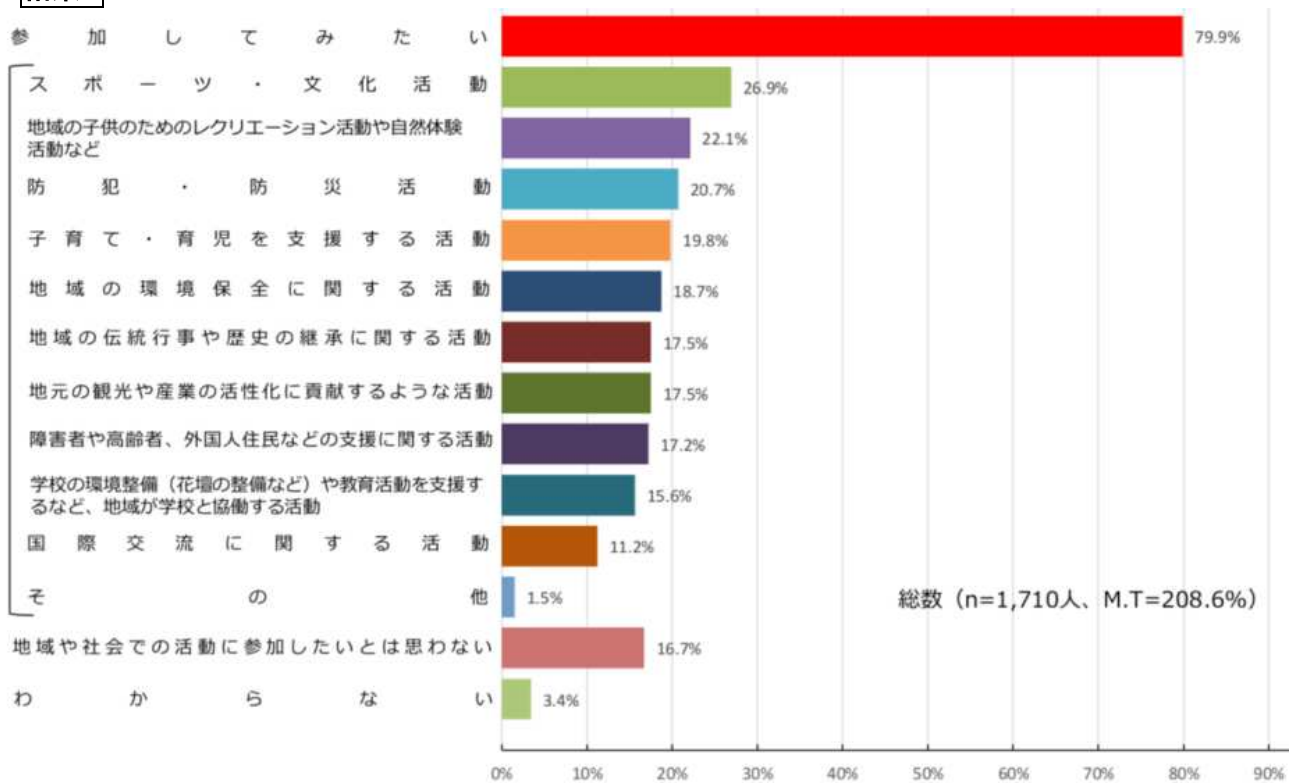
結果 1



(7) 地域社会での活動への参加意欲

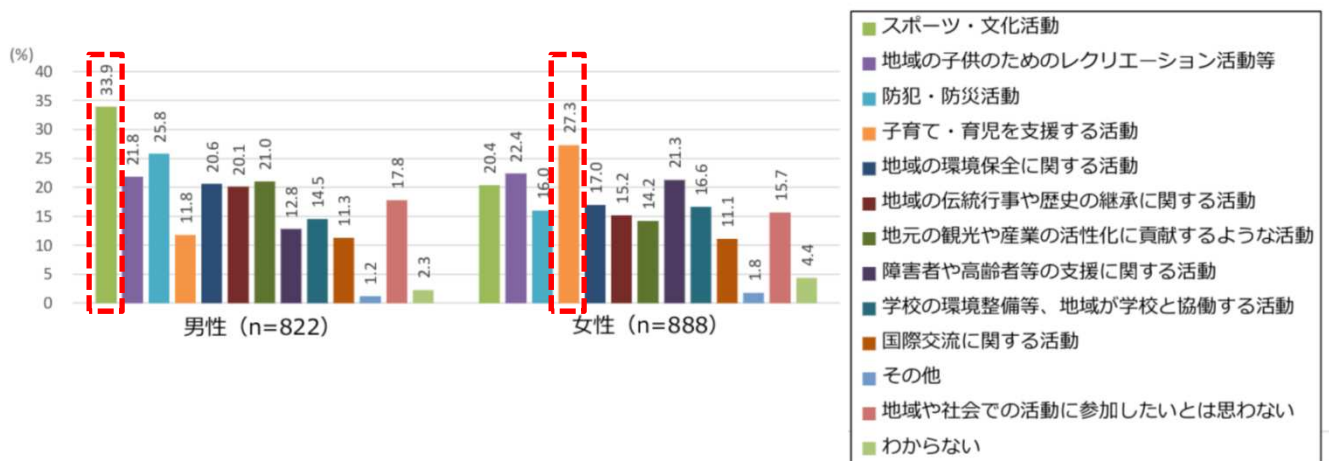
問7：あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。(複数回答)

結果1



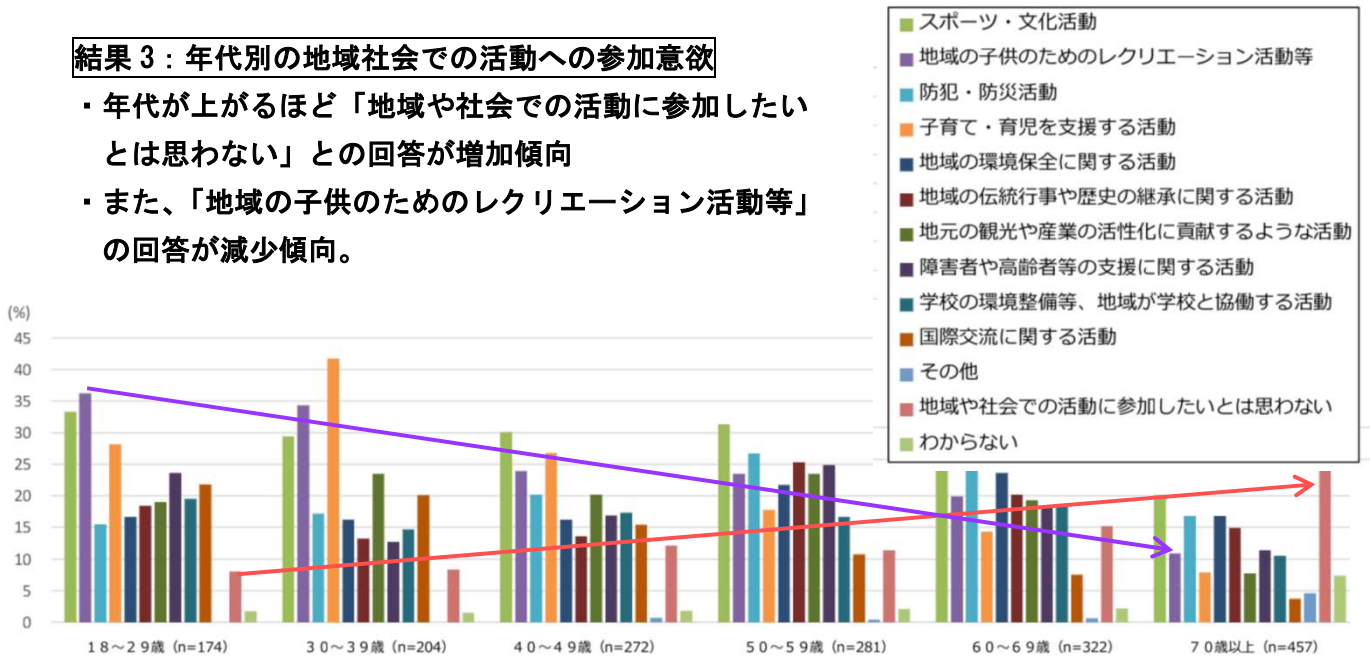
結果2：男女別の地域社会での活動への参加意欲

・男性では「スポーツ・文化活動」、女性では「子育て・育児を支援する活動」の割合が最も高い。



結果 3：年代別の地域社会での活動への参加意欲

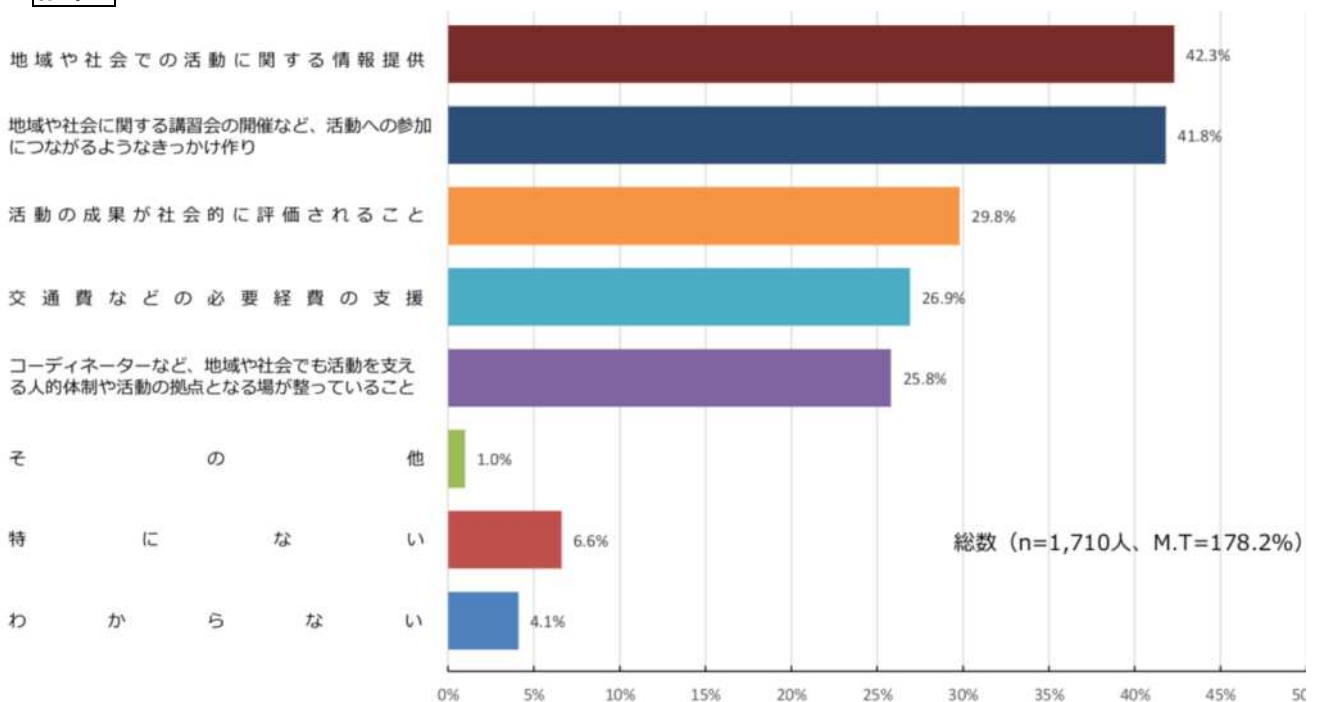
- ・年代が上がるほど「地域や社会での活動に参加したいとは思わない」との回答が増加傾向
- ・また、「地域の子供のためのレクリエーション活動等」の回答が減少傾向。



(8) 地域社会での活動への参加を促す方策

問 8：多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

結果 1



結果 2：男女別、年代別の地域社会での活動への参加促進方策

・男女、各年代とも「地域や社会での活動に関する情報提供」や「活動への参加につながるようなきっかけ作り」の割合が多く、活動のきっかけがつかめていない状況。

